

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2024年4月14日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



住民運動で市政を変えよう！ 議会報告会



2月の市長選挙で大奮闘された福山和人弁護士も参加していただいて、4月7日に議会報告会を開催しました。今回もまた会場いっぱいの参加者でした。福山和人弁護士からは、市長選挙を振り返って、次に生かす点や反省点、選挙後の動きなどが語られました。西野さち子からは「新市長提案の議案のうち、盛土規制を強化する条例など53件には賛成し、今でも足りない公園の中に、コンビニなどの商業施設をつくることのできる範囲の拡大などの都市公園条例改正など33

議案に反対しました。代表質問で敬老乗車証制度の改悪や民間保育園の補助金カットをもとに戻すように求めましたが、市長は拒否しました。一方で京都駅の混雑解消として総額195億円の事業には国と市を合わせて110億円も税金を使う提案です。」また、「自民党の裏金問題は赤旗日曜版のスクープが端を発しました。コロナワクチン接種関連業務で9億4300万円も京都市に不正請求をしていたことが明らかになった件では、京都民報の報道が新たな不正を告発していました。」と報告しました。馬場府会議員からは「府民の暮らし生業そっちのけの府政の一方で、北山エリア構想がとん挫したのは住民運動の成果です。」と報告がありました。



新年度スタート!!オール与党の悪政と正面对決 共産党市議団

予算組み替え提案

日本共産党京都市会議員団は、新市長の第一次編成予算案に対して、次の3点の予算組み替え動議を提案しましたが、他のすべての議員が反対しました。その内容の要旨は、「第1に、行財政改革計画により、行ってきた市民負担増と補助金カットは元に戻すとともに、公的な役割を後退させる民間委託や民営化の方針、職員削減を撤回すること。第2に、京都府内や全国に広がる18歳までの医療費の無料化や学校給食の無償化など、他の自治体に遅れを取っている事業の改善、及び全員制の中学校の給食についても、26,000食の巨大給食センター工場の建設ではなく、学校調理方式による中学校給食の検討を行うこと、市独自の給付制奨学金制度の創設など、子育て支援、若者への支援を拡充すること。中小業者の支援の拡充とともに、規制緩和や補助制度の拡充で呼び込み型開発を推進する方針を撤回することなど、暮らしと生業の支援を拡充すること。第3に、北陸新幹線京都地下延伸計画や大阪・関西万博、京都駅北部南部の開発計画など、ムダな大型事業計画推進方針を撤回するとともに、不要不急の大型事業を見直すこと。法人市民税の超過課税を他都市並みに引き上げるとともに、国に対しても累進課税の強化を求めるなど、大企業に対して応分の負担を求めること。」以上です。



N T M (日本トータルテレマーケティング) 社の不正請求は9億4300万円

内部告発を受け、共産党議員団は昨年の予算審議の中でも追及してきました。今回、N T M社の第3者調査委員会による92ページの調査報告書が発表されました。そこには、①他の自治体業務に従事したものの流用②京都市以外の業務に従事したものの流用③架空の人物のものを創作④実際には働いていない社員のものなどが提出されたことや、N T Mだけでなく、元請や関連会社の幹部も関与し、組織ぐるみの犯罪だったことも明らかになりました。報告書には不正行為が「特別なこと」ではなくなっていたと報告されています。報告書の最後には「N T M社内にはパワハラ体質が存在し」「上司から不正行為の指示があった場合に抵抗できなかった」ことも不正行為の原因の一つとされています。しかし、その内容は黒塗りになっているため、わかりません。総額(税込み)約9億4290万円になります。京都市の担当者は「最終的な不正請求額を確定し、遅延損害金も含めて返還させる」と言っています。

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!
☎621-6717

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円